

# 菊川市駅伝チームだより



令和7年6月4日

## チーム目標「考え、学び合い、共に伸びる菊川市チーム」

本日から駅伝チームの練習が始まりました。チーム目ひょうの「考え、学び合い、共にのびる菊川市チーム」となるための方法の一つとして、月1回ていど「菊川市駅伝チームだより」を発行します（菊川市スポーツ協会のホームページにも掲載）。小学生でも読めるよう、かんたんな漢字と分かりやすい言葉にしました。小中学生は自分で読み、家ぞくにも渡してください。

## 「人間力」と「走力」が共にのびた昨年度

練習会さんか者の多くが、市町対抗駅伝への出場や活やくを目ざしていると思います。しかし、チーム目ひょうのように、**学び合って「こじん」と「チーム」の力が共にのびることがもっとも大切**だと思います。学び合いを通して**人としての力がのび**、それが一人一人の**走力ののび**にもつながります。昨年度の例をあげてみます。

小学生	6年生のAさん、Bさん、Cさんは、 <u>3人でできそい合いながら共に走力をのばして</u> いきました。駅伝に出じょうし区間9位の好成績をのこしたAさんの活やくは、 <b>本人のどいよく</b> はもちろん、Bさん、Cさんという <b>すばらしいライバルのそんざい</b> も大きかったと思います。 
中学生	9月のせん考会でせん手こうほになれずその後の練習会に参加しなくなる人が多くいます。しかし、Dさん、Eさん、Fさんは <u>さんかし続け、せんしゅこうほのよいしげきにも</u> なりました。また、3人も最後までやりとげた <b>達成感</b> を味わうことができたと思います。この達成感がりく上以外のことにも生かされます。
高校生	Gさんは、中学2年生まで選手候補になったことがありませんでした。しかし、コロナの流行で集団練習ができない時期もHコーチの指導のもと自分で練習計画を <b>考えて地道に個人練習</b> を積み重ねたこともあり、中学3年時に駅伝に初出場しました。そして県外の強ごう校に進学し、1年生ながら区間8位と大活躍しました。
40さい以上	Iさん、Jさん、Kさんは、 <b>休日も3人で自主練習</b> に取り組みました。その中で学び合ったり市民マラソン大会で競い合ったりして共に力をのばしました。特にせん手として出場した大ベテランのIさんの <b>駅伝にかける強い意志</b> から他の二人も学ぶことが多かったと思います。 

こういったことの積み重ねの結果として、以下のように菊川市の成績も向上してきました。ちなみに菊川市の人口は、25チーム中、多い方から19番目です。

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
12位（かんとく賞）	12位	11位	<b>9位（初入賞）</b>
2時間20分05秒	2時間19分12秒	2時間19分30秒	2時間19分26秒

さらに、**菊川市の強み**は、ご家族や市民がチームを**温かく支え**てくださっていることです。おかげさまで、スタッフは**指導・育成やせん考に集中**できます。本年度もご支援・ご協力をよろしくお願いします。

# 感謝

【文責：北原弘明（かんとく）】